

# 海星だより

第1号 平成18年4月

広島県立大崎海星高等学校

<http://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>

入学式 



平成18年4月7日、新入生36名が入学しました。入学式では校長先生より次の3つのお話がありました。

第1は、高校での3年間、少なくとも自分で自分のことを褒める事が出来るように、勉強や部活動、学校行事、また工業や家庭科での物作りなど、何かに打ち込んでください。学校から帰って何となく過ごすのではなく、宿題はもとより自主的に何かに取り組む高校生であって欲しいと思います。部活動、学校行事では、仲間との接し方や人間関係を学ぶことができます。高校生活の中で、ここまでがんばれたという体験を持つことができれば、高校を卒業しても、何事もやればできるとプラス思考で行動することができると思いますので、高校時代に何かに取り組んだという体験を是非持ってください。

第2は、素直さを高校時代に身に付けて欲しいということです。物事を成し遂げたり、マスターする秘訣は、指導を受けたらまずやってみるという素直な心、学ぶ姿勢を持つことです。自己流に染まることなく、周りの人の助言を受け入れて、自分を大きくしていくことが大切です。かたくなにならないで、素直になるよう努力してください。素直な人は、ある意味では人間としての

のマナーを備えた人ということもできます。人間としてのマナーとしては、挨拶ができる、約束が守れる、嘘をついたり人を傷つけるなど人を裏切る行為は絶対にしないということをあげることができます。自分が嫌なことは人には絶対にしないことは当然ですが、人が喜ぶことを考えて、周りの人に喜んでもらおうという気持ちや姿勢を身に付けることができれば、社会人になったときに大変役に立つと思います。更に言えば、地元に貢献すること、郷土の役に立つことをしようとする人に成りたいと思う気持ちを持って欲しいと思います。

第3は、皆さん一人一人が大いなる夢を描き、夢をかなえるための準備を1



年生のときから始めてください。目標を早く決めることができれば、何のために勉強するのかを納得することができます。自分の夢を実現させるために、10年後に自分がなりたい姿を思い描くことが目標を達成させる一歩となります。「なりたい自分」を追いかける気持ちが強いほど、夢が実現する可能性が高くなります。何となくではなく、具体的なイメージが持てるような夢を描いて、その夢を追いかける高校生活を送って欲しいと思います。

これに対して、新入生を代表して石田 将太君が宣誓をしました。

## 新任者紹介



教頭 粟津 稔斉 先生  
(福山商業高校より)



養護教諭 西川 幸恵 先生  
(広島ろう学校より)



総括事務主任 中本 裕子 先生  
(賀茂高校より)

### 転任にあたって

大崎海星高等学校 教頭 粟津 稔斉

福山商業から転任しました教頭の粟津です。都市部のやんちゃな生徒を相手にしていました。それだけに、本校の生徒は、非常に素朴で素直に感じます。

この素直にものを受け入れられることは、人が成長する必修の条件なのです。先生の指導をまずは受け入れ、自分なりに加工する。それが人を伸ばす要素なのです。このことが、大崎海星の君たちにはあると思うのです。生徒の皆さん、これから、様々な体験をし、大きく伸びていきましょう。

ところで、君たちは「一所懸命」という言葉の意味を知っていますか。「一生懸命」と少しばかりニュアンスが違います。「一生懸命」は常に熱心に頑張ること。「一所懸命」は、こぞというときに集中して頑張ることなのです。「一生懸命」では、精魂尽き果てます。すなわち、集中して頑張るタイミングを心得て対処することなのです。普段は、リラックスし、楽しく過ごしていても、必要なときに、目の色かえて頑張る。こんな生き方をしようではありませんか。メリハリをつけることなのです。これには、自分は何をすべきかという目的・目標が頭のなかになければなりません。こんなライフスタイルで頑張ればきっと充実した高校生活が送れると思います。「一所懸命」の生き方をめざしてみませんか。

## 退職者・離任者紹介



養護教諭 平田 朱美 先生



事務 有田小由美 先生



教頭 片山 元夫 先生  
(尾道ろう学校 校長に)